

## 「北九州国際映画祭」 アンバサダーのリリー・フランキー氏による セレクション作品上映会のご登壇ゲストが決定！

本年11月17日に別紙により記者発表を行った上記企画について、各上映作品のご登壇ゲストが決定いたしましたので、お知らせいたします。

### 1 各上映作品のご登壇ゲスト

(1) 上映日：令和5年12月15日（金）  
上映会場：J:COM北九州芸術劇場 中劇場  
15:00～17:00 『つ。』/Ü Inose 監督

(2) 上映日：令和5年12月16日（土）  
上映会場：J:COM北九州芸術劇場 中劇場  
11:30～13:45 『ファン・ガール』/Ü Inose 監督

※『ファン・ガール』については、アントワネット・ハダオネ監督にご登壇いただく予定としておりましたが、ご都合により欠席となり、同作品につきましてもÜ Inose 監督にご登壇いただくことになりました。

### 2 ご登壇ゲスト

#### Ü Inose 監督プロフィール

1983年生まれ。カリフォルニア州立大学ノースブリッジ校で映画制作を学んだのち、巨匠アレクサンドロ・イニャリトゥの所属するAnonymous Content社にインターンとして採用されキャリアをスタートさせる。バイリンガル能力を活かして関わった作品には「モナーク：レガシー・オブ・モンスターズ」「ブレット・トレイン」「アネット」「インベーション」「シン・ゴジラ」「海を駆ける」「杉原千畝」等があり、監督・脚本作品では地方創世大賞優秀賞を受賞した「SA GA LAND」やドラマ24「シガテラ」、FODドラマ「Shibuya 零丁目」等がある。新しい文化や人々との出会いを楽しみ、常に広い視野を持つことをモットーに、異文化に多く触れることで培われた柔軟な感性は自身の作品の多様性に大いに反映されている。



(お問い合わせ先)  
北九州国際映画祭実行委員会事務局  
市民文化スポーツ局文化企画課  
担当：村田、堀池 電話：093-582-2389

報道機関各位

## 「北九州国際映画祭」 アンバサダーのりりー・フランキー氏による セレクション作品の上映会の実施が決定！

令和5年12月13日～17日に開催する「北九州国際映画祭」の会期中、当映画祭のアンバサダーであるりりー・フランキー氏がセレクションする作品の上映会の実施が決定いたしましたので、お知らせいたします。

### 1 上映日時及び上映会場

#### (1) 上映日時

令和5年12月15日(金) 15時00分～  
16日(土) 11時30分～

#### (2) 上映会場

J:COM北九州芸術劇場・中劇場

### 2 上映作品

#### (1) 『つ。』(15日(金) 上映)

佐賀県の片田舎に住む高校三年生、副島祐樹は大学受験を控え、上手くいかない人間関係や成績不振、出来の良い弟と比較される日々に悶々と焦りを募らせていた。そして迎えた大学入学共通テストでカンニングしたことがバレた祐樹は、全てを捨てて深い森へと逃げ込む。

そこで出会ったのは、自己責任の名の下に、押し付けられたルールのない世界で生きるために川の水を汲んで運び、山の獣を狩って自給自足の暮らしを営む数奇な人々のコミュニティ。野良妊婦のソル、コミュニティで生まれ育ち力比べだけに情熱を燃やすアキ、両親に愛されなかった心の傷を隠してセックスに逃げようとするサクなど、欠陥だらけで変人揃いの曲者たちとの共同生活を通して、祐樹に少しずつ変化が見られていく…。



監督・脚本：Ū Inose 総合プロデューサー：笠原徹

出演：山下万希、西谷星七、山田結月、石橋征太郎、長谷川テツ、  
大坪紗耶、真山俊作、高岡盛志郎、神山大和、青花美永久、  
Devkota Bishnu、青柳秀栄、築山尚矢、GAKU、古賀海、井手祐理、  
片瀬奏汰

87分 日本 2023年

※ 当日は Ū Inose 監督にご登壇 いただき、作品に対する想い、見どころなどを語っていただきます。

## (2) 『FAN GIRL』(16日(土)上映)

女子大生のジェーンは、憧れのセレブであるマークス・アテンディード(大人気の映画内カップルの一人)に夢中になるあまり、トラックの荷台に身を隠して「家」までついていくことに。

しかし行きついた先は、知らない土地の知らない家。全てを知り尽くしたはずのアイドルであるマークスの、知られざる顔を垣間見てしまう。

「憧れの人には会わない」という決まり文句の意味を、ジェーンは次第に知るようになる・・・

監督：アントワネット・ハダオネ

出演：チャーリー・ディソン、パウロ・アヴェリーノ  
100分 フィリピン 2020年



(C)Epicmedia Productions Inc.,  
Project 8 corner San Joaquin Projects

※ 当日はアントワネット・ハダオネ監督にご登壇いただき、作品に対する想い、見どころなどを語っていただきます。

(お問い合わせ先)

北九州国際映画祭実行委員会事務局  
市民文化スポーツ局文化企画課

担当：村田、堀池 電話：093-582-2389